

2007年度の プログラム小委員会報告

藤沢健太(山口大学)

観測公募

- 世界に公開
- 周波数 22GHzのみ
- 2ビーム 利用可能
- 他の観測局
 - VERAのみ / VERA+NRO45m+NICT34m
- 目標観測割当時間 400時間
- 締め切り November 3, 2006, 08:00 UT

小委員会概要

- 小委員会

- 開催日 2006年12月20日(14時から17時の3時間)
- 場所 国立天文台三鷹キャンパス
- 議事 2007年のVERA共同利用
- 委員会構成員
 - 郷田直輝、本間希樹、久野成夫(野辺山45m代表)(国立天文台)
 - 近藤哲朗(情報通信研究機構、鹿島34m代表)
 - 中井直正(筑波大学)
 - 藤沢健太(山口大学)
 - ex-officio 小林秀行(VERA観測所長)、柴田克典(VERA観測所)

応募・審査状況

- 総数9件 国内・国外を含む
- 総要求時間 520時間
- 審査・論点
 - － 科学的意義
 - ほぼ全てのプロポーザルについて、科学的意義は高く評価
 - － 議論
 - 非公開周波数の観測提案
 - 技術的難点による制限
 - VERA観測所が実施すべき提案
 - プロジェクト天体(観測中)の観測提案

観測時間・割り当て

- 採択件数
 - 6件
- 倍率
 - 1.5倍
- 割当観測時間
 - 計342時間
- 考察
 - 国内外の様々な研究機関
 - AGN／マイクロクエーサー／YSO／晩期型星
 - 適当な倍率・観測時間

No.	Proposal Title	提案者	所属	観測時間	
				VERA+NRO /NiCT	VERAのみ
1	X線連星LSI+61° 303の軌道決定による主星の正体解明	本間 希樹	国立天文台	-	70
2	Monitoring Flares and Imaging Jets in Microquasar Cygnus X-3	Soon-Wook Kim	Korea Astronomy and Space Science Institute	-	40
4	Parsec-scale radio emission, accretion disk, and broad-line region in 3C390.3	A.P.Lobanov	MPIfR	80	-
6	A Search for Supermassive Black-Hole Binaries in Twin-Jet AGNs	亀野 誠二	鹿児島大学	-	120
8	大質量星形成メカニズムの解明を目指したH ₂ O・メタノールメーザのマルチライン観測	杉山 孝一郎	山口大学	-	0*
9	相対VLBI観測による半規則型変光星VX Sgr星周の質量放出メカニズムの解明	蒲原 龍一	国立天文台	-	32
合計時間				80	262

VERAホームページで公開